

リニア岐阜県駅と東濃地域の状況

リニア中央新幹線沿線地域信用金庫との交流として、このほど東濃信用金庫（本店：岐阜県多治見市）を訪問し、情報交換を行いました。

岐阜県内では、いくつかの工区で業者募集が開始されていますが、現に工事が行われているのは日吉トンネル南垣外非常口（瑞浪市）のみ、という状況に変わりありません。岐阜県駅予定地においても目立った動きは見られません。



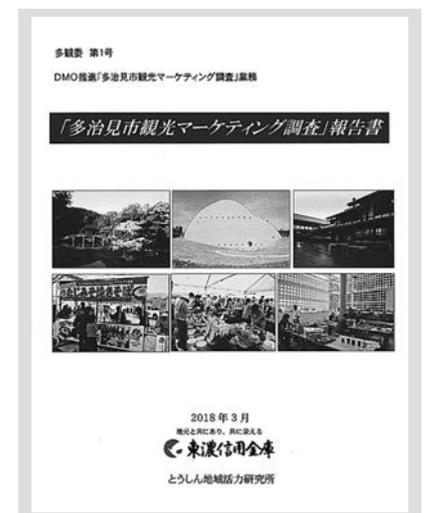
リニア岐阜県駅予定地（中津川市千旦林地区）

1. リニア開通を見据え、観光への対応を進める東美濃地域

東美濃地域では、昨年7月に中部経済連合会と東濃6商工会議所によりツーリズム東美濃協議会を発足しました（No.460 平成29年7月号で既報）。すでに公式ホームページとインスタグラムを立ち上げ、東美濃6市（多治見、中津川、土岐、瑞浪、恵那、可児）の観光資源の発信に取り組んでいます。

また、このほど一社（多治見市観光協会）がDMO候補法人として観光庁に登録されたことを受け、戦略立案プロセスとして現状分析のための「多治見市観光マーケティング調査」を、東濃信用金庫とうしん地域活力研究所が多治見市から受託して実施しました。調査結果を基に、今後SWOT分析、課題抽出、戦略立案、政策実施へと進められることとなっています。

「多治見市観光マーケティング調査報告書」



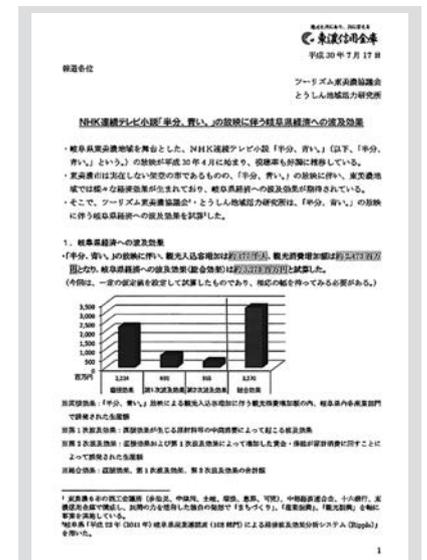
（東濃信用金庫 提供）

「NHK連続テレビ小説『半分青い。』の放映に伴う岐阜県経済への波及効果」

2. NHK連続テレビ小説「半分青い。」の岐阜県経済への波及効果は32.7億円と発表

同研究所はツーリズム東美濃協議会とともに、東美濃地域が舞台となったNHK連続テレビ小説「半分青い。」放映について波及効果を試算し、発表しています。それによると、観光入込み客増加や観光消費増加などの直接効果で22.2億円、原材料等の中間需要による第一次波及効果が6.9億円、直接・第一次波及効果により増加した賃金等が家計消費に回ることによる第二次波及効果が3.5億円、これらの合計金額である総合効果は32.7億円となりました。

（東濃信用金庫HP）とうしんについて）とうしん地域活力研究所）RaVo ニュース



（東濃信用金庫 提供）

3. 瑞浪市日吉南垣外非常口の状況

岐阜県内で唯一の工事現場となっている瑞浪市日吉地区の南垣外非常口を訪ねました。

のどかな街道（県道388号＝旧中山道（中街道））から一步入ると、一変して田園風景の中に非常口掘削工事現場と発生土運搬の巨大なベルトコンベアが目に入ります。掘削現場と発生土処理場が近く（直線距離で約1km）、ダンプによる搬送より効率的との判断によるものと思われます。

住宅が農地の中に点在する洞地形の中をベルトコンベアがうねって山腹を辿り奥山へと向かいます。コンベアに沿った道路を走っていくと、間もなく山間の発生土処理場にたどり着きました。フェンスで囲まれた処理場は複数の沢筋からなる凹地で、発生土が積置きされています。やがてこの一帯が全体的に埋め立てられ、広大な平地が生まれるのではと推察しました。

長野県内では、飯沼北条地区において風越山トンネル掘削工事にシールド工法の採用が説明されています。シールド工法となると、北条上段に設置される立抗から発生土が出されることとなり、住宅密集地の中で発生土をどのように運び出すかが問題になっているようです。対応策として北条地区からの搬出にベルトコンベア導入が検討されているとの情報もあることを念頭に、この巨大コンベアを眺めました。

4. リニア沿線地域金庫連携を更に

当金庫は平成27年度にリニア中央新幹線の開通に伴う諸問題や地域の課題を明確にするため、地域へのアンケート調査のほか関連調査を行い、「リニア中央新幹線開通に係る調査報告書」にまとめ発表いたしました。

その後の工事の進捗に伴う地域の変化や地域の皆様の意識変化を捉えることとし「定点観測」としての第二次調査を平成31年度に予定しています。その中で当金庫の取組みとして掲げている「リニア沿線地域（金庫）の連携」の一環として、東濃信用金庫との共同アンケートなどの調査実施を展望しており、そのための意見交換を行いました。

（飯田信用金庫 地域サポート部 リニア対策課 加藤 修平）



日吉地区南垣外集落 交差点を左折して入ると…



非常口掘削現場（右奥）とベルトコンベアが姿を現す



近寄るとコンベアシステムの巨大さを実感



ベルトコンベアの終着地点、発生土処理場